LIFE STYLE

リッチなオジサンの私物は語る

ITコンサルタント 中田智晃が愛用するクルマ・時計の華麗なる遍歴

2024.03.31

SHARE

マーケティングやコンサルティングなどを業務とする会社を経営する中田智晃さん。プロジェクトごとに最小限のプロフェッショナルチームを構築し、一人ですべてをこなせるアクティブなビジネスパーソンだから、その気質は当然、愛用のアイテム選びにも反映しています。スポーティなターベを文字通り買い替え、ロレックスをアレコン楽しむ趣味もまた、中田さんの人生哲学に強くヒモを付いているのです。

Event

2024年12月6日（金）バネライズ丸の内でアットトピア厳選集合のジュエリングアドバイス

趣味もヤリきることで達する領域がある

ITやメディアを活用したマーケティングやコンサル、それにも各種PR戦略に始まり商品開発及びブランディング、そして企業調査のM&Aまでも手掛ける中田さん。アンスネントとなる特色が一人で会社を切り盛りする昨今の在りなアントレプレナーです。平日は顧問を受け持つ複数の企業や、担えている案件をこなすために日本中を駆け巡り、休日は愛車でドライビングを楽しむという思っからのアクティブ・パーソンです。そんな中田さんは、まず乗り物遍歴からして実にアクティブな半生。そのスタートは関西の大学に通っていた時代に原点があると振り返ります。

「現在も基本的には変わりませんが、昔からスポーティなクーペが好きなんです。それはブガッティとセな時代に、憧れの車でした。ちょっとジェームス・ディーンに憧れていた部分があったんです（笑）」

学生時代を終え、地元の関西にて就職した中田さんは、より実用的なBMW Z3に乗り換えます。その後BMWの次はアルファロメオのスパイダー、また、メルセデス・ベンツのクラスの230というシュートモデルにも興味を持ったと言います。

「僕が乗っていたG230は今のゲレンデとは少し趣が異なります。ゴージャスというよりカントリーなインテリアがひとつのポイントです。その後はバイクにも手を出して、ハーレーを乗り回す時代もありました。しかしバイクだけでは当然不便、合わせてミニクーパーなどにも乗っていました」

あること関西から東京に転勤となり、当初はバイクのみの生活が続いたと言います。

「東京にて最初に買った乗り物は、ハーレーのソフテイルデラックス。大きくて乗りやすい1300ccのバイクでした。ただしシルビかり大きすぎて（笑）、その次に883スポーツスターに乗り換えました」

そうこうしているうちに青春時代の全盛期を迎えた中田さん。欲求と快適にドライブを楽しもうとご結婚時代を突破します。パジェロをデビュイアートを楽しんだ時期も合った上新り返ります。その後、仕事の都合で一旦関西にリターン。その当時はBMW328クーペのハンドルを握っていたとのこと。年月は流れて彼女とめでたくゴールイン、さすがにクーペは結婚生活に向かないとの意見もあり、アウディのセダンを購入します。

「しかし、クーペ好きの気持ちをいつまでも押さえておけるものではありませんし（笑）、結果ポルシェのケイマンを買いました。その後もツワリつとドライビング熱が冷まり始けて911（997）を購入したんです」

東京に再び拠点を移し、想像のポルシェライフを送ります。途中何度かゲレンデを挟みつつ、ケイエンのGTSからケイマン（718）、911クルガ（991.1）、911カレラ（991後期）、911カレラSカブリオレ（991前期）、911タルガ4 GTS（991）と複数台のポルシェを乗り継ぐことになるのです。

「まあ、これだけアレコレ乗り回したならポルシェはもうイイかと思い（笑）、アストンマーティンのDB11に乗り換えました。その後DBSスーパーレッジェーラを経遮し、現在のベントレーに行き着きました。今乗っているベントレー コンチネンタルGT S は、その名のとおりグランツーリスモ。ゆったりドライビングを楽しむのに最適な一台です」

そんな中田さんのもうひとつの趣味が機械式時計。IWCやオーデマ ピゲ、それにブレゲなどをスポット的に購入することもありますが、最近とて入手に絞げているのはロレックスだと強調します。

「オーデマ ピゲはオフショアのように個白さを持つモデルがあります。パテック フィリップの特別なモデルは"買える"ということにエクスタシスがあるように感じます。ただし、実際に着けて楽しむという意味では、個人的にはロレックスが一番自分らしいと考えています。色々な着こなしにマッチしますし、日常的な耐久性も備えています。なによりリセールバリューが安定しているので、マイナスにならず買い替えが楽しめるんです」

時計もそうですが、クルマに関しても"乗っては売る"で"はっては売却する"を20数年続けてきた中田さん。一体これまでどれくらいの金額を注ぎ込んできたのでしょう。

「自分は金融関係の投資にはあまり興味がありません。その代わり時計やクルマには思いろいろ手を出してきました。ただし、それは資産運用という考えよりも時計やクルマが本当に好きだから、もちろん買い替えの時にはなべくムダのないよう情報収集はします。その お陰もあって、これらの趣味はほぼトントンで済んでいるんやで（笑）」

現在所有しているロレックスは、サブマリーナーとGMTマスター、それにデイトナの3本。なかなかのラインアップですが、やはりこれが腰折コレクションとはならないだろうと語ります。

「その昔、プラチナのデイトナを長く所有していた時期があります。あの独特のズッシリ感は書けた人にしかわかりません。現在手にしているデイトナはSSモデルですが、やはりあの重みに戻りたいと思う自分がいるんです（笑）。まあ、アレを着けている思トいにしならずますから（笑）。またそれは先でも、最終時計としてパテック フィリップのノーチラスにも、いつかはいきたいと思っています」

Profile
中田智晃
中田商店株式会社 代表取締役

大学卒業後、メディアビジネスを経験し、その後ITベンチャーなどを経て独立。現在はメディア、デジタル系のサポート、マーケティングなどを自身の会社で行っている。

外商会員はリッチなオジサンの味方です。
申し込みはWebで簡単にできます！
https://www.connaissligne.com/gaisho/index

撮影 岡田ナツコ
文 長谷川 剛